再興後の飯田市の姿

駅でののりかえが便利になった！

タズネビト

駅東側上空から駅舎を見る

飯田駅からのバスやタクシー、車への乗り継ぎがバリアフリー、一か所にまとめて移動に迷うことのないレイアウト。駅舎は現況と同じ規模で親しみのあるデザイン。改札からプラットフォームへの移動を平面で接続し、階段等のバリアを無くした。

病院へ向かう道が楽しくなった！

ソダチビト

縁側広場から桜並木を見る

飯田駅から飯田病院へとつなぐ、駅前広場から一歩入った縁側広場。人々の表情が分かる距離で向かい合った縁側では、子どもからお年寄りまでが座ってくつろいだりコミュニケーションをとる場となる。縁側の奥の室内には、健康増進・維持を目的とした運動施設やクリニックが併設されている。

駅の広場でくつろいで、りんご並木へ出発！

タズネビト

通り町から辻ひろばを見る

弧を描いて大きく開かれた辻ひろばには、ゆるやかな丘の上の樹々や静かな水面が配され、その外側にテラス席のカフェ、文化交流会館があり、訪れる人の流れを駅から通り町、りんご並木へと誘う役割を果たす。風越山の風景も素晴らしい。

ここのりんご達はみんなに見守られているんだね！

ソダチビト

通り町からりんご辻を見る

まっすぐに伸びた、拡い道路の中心を人々が移動したり散策できる計画の通り町。町ごとに配された「りんご辻」のりんごの樹が町人によって管理され、水や太陽のめぐみを享受し環境を意識した通りとなっている。

大好きな型の電車と遠くの南アルプスが素敵！

タズネビト

鉄道ひろばからリンゴ坂を見る

かつて活躍していた飯田線の車両展示を左手に見て、りんご坂へと向かう。緩やかな階段を下って行くと、中央公園へと出る。

育てた野菜を使った料理の自分のお店ができたよ！

ソダチビト

坂の下からりんご坂を見る

観光・起業の原点となるりんご坂。鉄道広場を左手に見て中央公園へと向かう、緩やかな段状の小怪から畑の間を通ってアクセスするショップの数々。飯伊地域で採れた食材を使ったレストラン、飯田水引などの工芸品の製作体験・展示・購入ができるお店やチャレンジショップで賑わいを創出する。

新旧・うらおもてが織り交ざる辻が賑わっているよ！

スミビト

裏界線から知久町横丁を見る

裏側にも顔を向ける商店街の辻、「知久町横丁」と「中央通り横丁」。若手の新規参入の場、店主同士の情報共有の場となる。街区の裏と表をつなぐ新たな抜け道は、地域の人にとっては近道、来街者にとっては恰好の寄り道となり、裏界線と一体となったオープンスペースは子どもの路地裏遊びの舞台となる。

街なかで環境に優しい暮らしを実践しているよ！

スミビト

空地を借地し、新たにつくられたエコハウス。城下町ならではの細長い敷地に適した町屋型の配置構成とすることで、自然環境をうまく取り込み、快適な暮らしを実現する。離れは SOHO として利用も可能であり、ライフスタイルの多様化に対応する。

今ある町割りを活かし、使える建物は活用するよ！

裏界線の修景

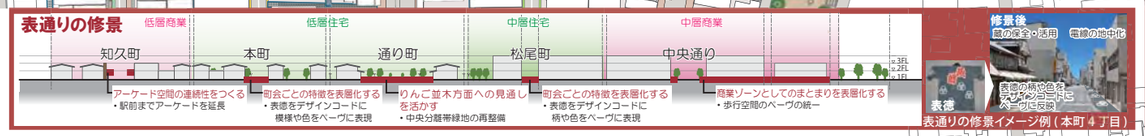
①ベーヴに落ち着きのある表情をつくる〈石畳・レンガ舗装〉
②水系を再現する〈水路、井戸〉
既存建物を活かす
③建物に表情をつくる〈お化粧レベルの修景〉
・地域資源である蔵は保全し、活用を図る
・外壁面や開口部を修景する
（自然素材の使用、低彩色の色彩）
・ブロック塀は撤去し、板塀や生垣化する
④視覚的な開放感をつくる〈開放性、視認性の確保〉
・生垣、塀を低くし、庭先を見せる
・塀を撤去し、裏庭と裏界線を一体的に見せる

舗装・水路イメージ

遊休地の活用

⑤開放空地をつくる〈敷地の一部開放〉
・敷地一部をポケットパークとして利用可能とし、緑化を図る
⑥通り抜けをつくる〈貫通通路の開放・設置〉
・既存駐車場に通り抜け通路をつくる
（合わせて緑化修景を図る）
・敷地全体をポケットパーク化し、通り抜け可能にする
・建物を新築し、建物内に通り抜け路地を設ける

遊休地の修景イメージ（松尾町蔵の辻）



表通りの修景イメージ例（本町４丁目）